

技術名	調査・点検用水上スライダー「Hy-CaT」による港湾構造物の点検		
-----	----------------------------------	--	--

## 1. 技術概要

特徴	作業効率	<b>210%</b> (当技術/従来技術)	現地点検作業：潜水調査（標準歩掛）と比較 当技術（標準値）：2,520m <sup>2</sup> /日 従来技術：1,200m <sup>2</sup> /日（潜水目視調査） (床板と水面の離隔:1m、点検対象:床板・梁の場合)						
	経済性	<b>416万円/2,520m<sup>2</sup></b>	算定条件：基地港からの距離25km未満とし、調査計画・機材運搬・現地調査（6時間/日）・画像解析・報告書作成・事前協議・最終報告まで：諸経費・消費税込（令和7年4月現在）						
	(独自で設定した項目) 可搬性	エアチューブフロート及び組立式船体により宅急便による搬送を可能とする。							
連絡先等	株式会社東京久栄 技術センター カーボンニュートラル戦略室 小林努 Tel : 048-268-1600 E-mail : tkobayas@tc.kyuei.co.jp								
技術紹介URL (パンフレット等)	<a href="https://www.kyuei.co.jp/catalog/">https://www.kyuei.co.jp/catalog/</a>								
技術概要	桟橋下面や暗渠内等に調査員や潜水士が立ち入らずに調査や点検をおこなうための技術。安定性に特化した双胴式・円錐状船首・低重心・扁平構造の船体とアクションカメラにより波浪の影響を低減しながら構造物の画像を効率的に撮影できる。画像は市販のSfMソフトにより3D復元・オルソ画像を生成して損傷箇所の判定などを判読し、損傷状況調査資料作成や劣化度判定を行うことができる。 東京大学生産技術研究所との共同開発品である。								
活用状況写真									
活用フロー	<p style="text-align: center;"><span style="color: red;">当社実施範囲</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px; width: 33%;">Hy-CaTによる点検の実施</td> <td style="padding: 5px; width: 33%; text-align: center;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・合成画像の作成</li> <li>・画像による損傷状況調査</li> <li>・劣化度診断</li> </ul> </td> <td style="padding: 5px; width: 33%; text-align: center;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理計画</li> <li>・補修設計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px dashed red; border-bottom: 1px dashed red; padding: 5px;">外業</td> <td style="border-top: 1px dashed red; border-bottom: 1px dashed red; padding: 5px; text-align: center;">内業</td> <td style="border-top: 1px dashed red; border-bottom: 1px dashed red; padding: 5px;">内業</td> </tr> </table>			Hy-CaTによる点検の実施	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・合成画像の作成</li> <li>・画像による損傷状況調査</li> <li>・劣化度診断</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理計画</li> <li>・補修設計</li> </ul>	外業	内業	内業
Hy-CaTによる点検の実施	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・合成画像の作成</li> <li>・画像による損傷状況調査</li> <li>・劣化度診断</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理計画</li> <li>・補修設計</li> </ul>							
外業	内業	内業							
当社の実施範囲（該当〇）	点検機械	○							
	操縦者	○							
受託業務	○	○	△						
備考	外業、内業ともに当社で実施する。 点検機械の販売・リース等は可能である。 △：当社への委託でも可能								

対象施設等									
対象施設	水域施設		外郭施設	係留施設	その他				
				○					
構造形式			桟橋						
点検部位・点検内容	桟橋下面の劣化度診断								
概算費用	約416万円/2,520m <sup>2</sup> （諸経費・消費税込、令和7年4月現在）(外業：68万円、内業：348万円)			点検場所・点検面積により増減あり					
点検実績	6件	港湾6件（地方公共団体等1件、民間5件）：神戸市ほか							
現有台数	3台	基地住所		埼玉県川口市					
追加機能等の開発予定	外部給電機能、非GNSS環境下における自律航行機能								
特許・NETIS、関連論文等	特開2023－156018号（無人水上移動体用船体及び無人水上移動体）								

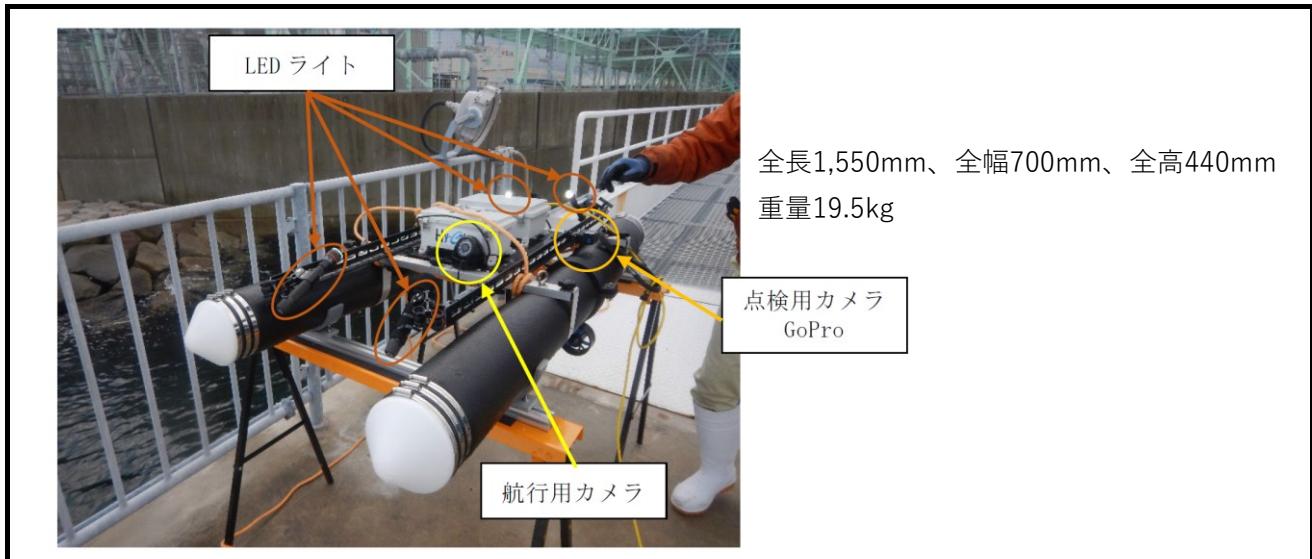
## 2. 基本諸元

外形寸法・重量	①全長1,550mm、全幅700mm、全高440mm、水上高340mm。重量19.5kg ②全長1,250mm、全幅440mm、全高440mm、水上高340mm。重量17.5kg	
(独自で設定した項目) 拡張性	幅狭フレーム（全幅440mm）の換装が可能なほか、カスタマイズ可能な拡張ユニットを搭載出来、多様な目的に活用可能。	
項目	適用条件	補足事項
<b>現場条件</b>		
周辺条件	桟橋下面への進入に際し、杭間は1.0m以上、高さ空間は0.5m以上（推奨：0.8～2.0m）	幅狭船体や拡張ユニット、カスタマイズにより、左記条件の緩和が可能
作業範囲	200m以内（ケーブル長200m）	オプションで300m（光ファイバーケーブル化により500m）まで可能
安全面への配慮	機能不全時はケーブルで回収	-
現地への運搬方法	宅急便やライトバンで運搬。ロープやモッコで人力で海上に投入・回収	-
気象海象条件	風速10m/s以下、波高0.5m以下、流速1.5m/s以下	-
(独自で設定した項目)	-	-
<b>作業・運用体制、留意事項</b>		
作業体制 (必要人員・構成)	外業：3名 内業：1～2名	-
日当たり作業可能量 (準備等含む作業時間)	2,500㎡/日（床板と水面の離隔1m、点検対象床板・梁（側面・下面）の場合）	点検場所（位置・離隔）及び点検対象・条件により増減あり
夜間作業の可否	可	LEDライト4灯装備可能 (桁下点検ユニット)
利用形態 (リース等の入手性)	購入（206.5万円～）・レンタル（1泊2日23.65万円。6.05万／日）可能	販売価格はオープン 提示価格は直売価格
関係機関への手続きの必要性	海上保安庁への作業許可申請、港湾管理者への作業届、周辺漁業組合等への周知	海上保安庁や港湾管理者等の指示による
解析ソフトの有無と必要作業 外注及び費用・期間等	解析ソフト無し。合成画像等より損傷状況等を目視判読して劣化度診断をおこなう	-
(独自で設定した項目) 充実サポート	技術面バックアップの他、購入品は1年間のメンテナンスパックが付与される	部品交換が必要な場合は、別途部品代が発生
<b>パソコン等動作環境</b>		
O S	Windows11	
メモリ	8GB以上	
必要なソフトウェア	QGroundControl、汎用SfMアプリケーション	

### 3. 運動性能・計測性能

項目	性能	補足事項
運動性能		
構造物近傍での安定性	安定性に問題なし	-
狭小進入可能性能	杭間は1.0m以上、高さ空間は0.5m以上（推奨：0.8~2.0m）	幅狭船体や拡張ユニット、カスタマイズにより、左記条件の緩和が可能
最大稼働範囲	200m以内（ケーブル長200m）	オプションで300m（光ファイバーケーブル化により500m）まで可能
連続稼働時間	約3時間	バッテリー交換及び大容量バッテリーの搭載により延長可能
自動制御の有無	なし	-
(独自で設定した項目) 旋回性	狭隘箇所での運用を想定し、超信地旋回（その場旋回）が可能である。	-
計測性能		
計測精度	撮影距離1.0mで、0.4~0.6mm以上のひび検出が可能	高解像度カメラの搭載により0.4mm以下の抽出が可能。但し、撮影・解析日数は増。
位置精度	数cm（合成画像から判読）	-
色識別性能	無し	-
(独自で設定した項目) 画像ブレ抑制	砲弾型船首及び扁平構造により揺れを抑制。 波高0.5m以内で鮮明映像の取得可能。	-
その他		
操作に必要な資格の有無	なし	-

#### 4. 図面



#### 5. 点検概要図、状況写真

